

よいことのために  
手を取りあおう



## ◆◆ 本年度会長方針 ◆◆

「ロータリーの原点にかえり、高めよう倫理観」

例会日/毎週月曜日 12:30 ~ 13:30  
例会場/広島サンブラザ TEL (082) 278-5000  
会長/梶田 滋 幹事/藪園 泰斗

## 事務局

〒738-0015 広島県廿日市市本町5番1号  
廿日市市商工保健会館4F  
TEL (0829) 31-5490 FAX (0829) 31-5491  
E-mail / office20@h-hrc.com  
URL / http://www.h-hrc.com/

## 第1218回 石内ペノン(ECHEL) 2026年1月19日

## 会長時間

会長 梶田 滋



新会員入会式 有田 智実 会員

## 第1220回 広島サンブラザ 2026年2月2日

## 会長時間

会長 梶田 滋



誕生日祝

## 卓 話

「日常生活に役立つ(?)  
薬の知識 & 医療と  
薬局関連のニュース等」

井伊 慎哉 会員

## 第1219回 ウッドワン(ログハウス) 2026年1月26日

## 会長時間

「理事会報告」

副会長 石原 弘善

## 卓 話

クラブの方針に関する意見交換



## 卓 話

「ロータリーについて」

河内 正晴 会員



## ① はじめに

皆さんご存じのように、  
ロータリークラブは1905年、  
アメリカ・シカゴで弁護士  
ポール・ハリスによって設

立された国際的な奉仕団体です。その理念は、  
職業を通じて社会に奉仕することであり、個  
人の倫理や信頼が地域社会の発展につながると  
いう基本原則は、今日でも世界中のクラブ  
に受け継がれています。

## ② 広島廿日市ロータリークラブの歴史

広島廿日市ロータリークラブは、広島西南  
ロータリークラブをスポンサーとして、1995  
年5月8日に創立し、同年5月17日に国際ロー  
タリーから正式に承認されました。創立時は  
33名でスタートし、現在も地域に根ざした少  
人数精鋭のクラブとして活動を続けています。

### ③ チャーターメンバーと初期

創立時の33名のチャーターメンバーは、クラブの理念と地域貢献への強い思いを持ってクラブの礎を築き、現在も数名が現役として活動しています。また、1996年12月16日には山陽女学園高等部インターアクトクラブが結成され、青少年支援の重要な柱となっています。

### ④ 主な活動内容

当クラブでは、地域社会に根差した幅広い奉仕活動が行われております。主な例として次のような活動があります。御手洗川周辺や宮島弥山登山道の清掃活動を実施し、地域の環境保全と景観維持に貢献しております。この活動は山陽女学園インターアクト生と合同で行ったものもあり、青少年との連携支援の一環にもなっております。また、青少年支援と社会課題への対応として行っている、ポリオ撲滅募金活動、薬物乱用防止キャンペーン、地元の若者支援（過去には暴走族更生支援）などは、次世代を支える重要な活動です。

### ⑤ 主な記念事業

地域や観光、国際交流に関わる象徴的な記念事業も行っております。創立30周年にはJR宮島口駅に「日本三景（宮島）」の案内板付きベンチを寄贈し、20周年にはJR廿日市駅前に時計塔を寄贈しました。これらは地域のシンボルとして親しまれています。

### ⑥ 姉妹・友好クラブ

台湾・台北市南港ロータリークラブとの姉妹クラブ提携、宮津ロータリークラブ・松島ロータリークラブとの友好関係を通じ、国際交流と地域発展の両立を図っています。

### ⑦ 現在のクラブ

現在は約20名の会員が在籍し、毎週月曜日に広島サンプラザなどで例会を開催しています。例会では講話や奉仕活動の計画、会員同士の交流が行われています。

### ⑧ 地域社会へのインパクト

当クラブの活動は単なるボランティアではなく、地域の暮らしをよりよくするための実践的な行動です。環境美化、青少年支援、国際交流、そして観光資源を活かす取り組みは、まさに「ロータリーの理念」が日常へ根付い

た形といえます。

### ⑨ 結び - 奉仕する心

広島廿日市市ロータリークラブは、創立以来「職業を通じて社会に貢献する」というロータリーの理想を胸に、地域社会とともに歩んできました。これからも地域のために奉仕の心を持って活動を続けてまいります。

ご清聴、ありがとうございました。



第1221回 石内ペノン(ECHEL) 2026年2月9日

### 会長時間

会長 梶田 滋

### 卓話

#### 「職業としての司法書士」

高尾 昌二 会員

就職を取り巻く状況が売り手市場となっていることなどから司法書士になることを志す若者が減少傾向にあります。

コロナ禍以降に多少の回復はみられるもの

の平成22年度の33,166名をピークに減少している司法書士試験受験者数（令和7年の出願者数17,365名、合格者数は平成22年：948名、令和7年：751名）と若年者の受験者・合格者が減少傾向にあること（合格者の平均年齢が10年で約10歳上昇し令和7年42.05歳）の対策として、私自身も地元の大学で資格のガイダンス等をして、主に若年者に職業としての司法書士の魅力等を伝える活動に取り組んでいます。

ただ、ガイダンスで魅力を伝えるといっても現役の司法書士は自分が司法書士であることをどう思っているのか？ということがわからないことには伝えるべき魅力も分からぬのですから、日本司法書士会連合会が実施したアンケート等を使うなどして趣向を凝らした内容にしています。

例えば、〈現役司法書士へのアンケート〉では、以下のような結果が出ています。

① 司法書士になってよかったと思いますか？

よかった 94.9%

よくなかった 5.1%

② 司法書士になってよかったと思う理由は何か？

\*①で「よかった」と回答した人のみ回答

1位 感謝されることが多い・社会貢献ができる・人の役に立つから

2位 いつまでも働ける（定年がない）から

3位 自分で仕事時間のコントロールができるから

4位 自分で仕事がマネジメントできるから

5位 比較的収入が見込めるから

この結果からは、約95%の人が司法書士になってよかったと思っていることが分かります。その理由については、感謝されることが多いことや定年がないこと等が上位を占めていました。

司法書士の認知度という社会人になれば、学生時代と違い仕事や暮らしの中で活躍している司法書士の仕事ぶりに触れる機会が確実に増えることとなり、これをきっかけに司法

書士という職業を知りそれをきっかけに目指し始めるというのは以前からよく耳にする話です。しかし、学生のうちに司法書士という資格を身近に感じることがあまりないようです。

業界としては、まずは、現状でできることからということで、学生向けの特設WEBサイトの開設、司法書士ブランディング動画「5W1H司法書士」の制作等を行っています。

特に司法書士ブランディング動画「5W1H司法書士」については、誰が観ても楽しめる内容になっていますので是非ご覧ください。

また、身近に司法書士に興味があるという方がおられましたら是非ご紹介ください。



動画のQRコード



第1222回 ウッドワン(ログハウス) 2026年2月16日

会長時間

「理事会報告」

副会長 石原 弘善

卓話

「土地家屋調査士って何をする人？」

植田 敏揮 会員



活動報告

広島西南 RC 合同  
インフォーマルミーティング  
2月13日 広島芸州本店



G6・G7 合同  
インターシティミーティング  
2月15日 広島コンベンションホール/  
シェラトン広島



スマイルボックス

- 1月 大藤、渡邊
- 2月 今川、石原、河内、永井、大藤、植田、渡邊